

平成28年度成果報告 産業観光課総括

1. 商工観光関係

- ・都市部からのU J I ターン希望者を南木曾に招き事業所との面談や体験会を中小企業雇用確保支援で行った。
- ・小売事業者等の商店の廃業や撤退、高齢者等の買い物弱者対策等への対応を含めて検討していく「南木曾町ショッピングセンター開設協議会」を設置した。
- ・南木曾町観光協会公式ホームページ「ぶらり南木曾」の英語版、スマホ英語版対応のリニューアルを行った。
- ・平成26年7月9日発生南木曾町豪雨災害、御嶽山噴火の影響で観光客入込の落ち込みが続いているため木曾観光復興対策協議会・木曾観光連盟等とのタイアップによる観光PRイベントを各所で実施した。
- ・「木曾路はすべて山の中 ～山を守り 山に生きる～」木曾地域が「日本遺産」に認定された。
- ・南木曾岳登山道、田立の滝登山道の整備を行い、観光客の安全確保を実施した。

2. 農政・農村整備・林務関係

- ・平成12年度から始まった中山間地域農業直接支払制度の4期（平成27～31年）と多面的機能支払交付金事業（平成26年8月～）による各協定での取り組みが進められ農道・水路の維持管理が行われている。
- ・なぎそグリーンマーケットは4年目を迎えた。学校給食への活用もあわせ地産地消に取り組んだ。
- ・与川大橋の耐震改修を県営農村地域防災減災事業として採択申請した。
- ・農業用水路小水力発電支援事業で細の洞水路の概略施工計画等を作成し、事業採択に向けた準備を進めた。
- ・国土調査事業は、田立大野正兼地区の山林部を実施した。
- ・民有林整備計画基礎調査を実施し、今後の森林整備計画策定に必要な基礎データを収集した。
- ・全国植樹祭が長野県開催となった。県民植樹木曾会場として吾妻漆畑地籍で木曾郡植樹祭、南木曾町・木曾森林管理署南木曾支署合同植樹祭を開催した。
- ・福澤桃介が初代社長である大同特殊鋼(株)と森林（もり）の里親契約を締結し、天白町有林を「だいどうの森」として整備していくこととなった。
- ・日陰ボケ町有林で搬出間伐を実施した。（平成27年度繰越事業）

3. 7. 9南木曾町豪雨災害復旧工事

- ・27年度繰越工事（頭首工4か所・水路2か所）は完了した。
28年度発注工事（頭首工2か所・水路1か所）のうち、頭首工1か所・水路1か所は、国発注砂防堰堤工事の工期延長に伴い一部施工を29年度に繰り越した。

4. 特別会計

妻籠宿有料駐車場特別会計

- ・駐車場使用料は対前年度比△10%、約331万円の減となった。主な原因はバスの利用が△813台、乗用車の利用が△2,946台減ったことによる。月別では9月の乗用車利用が△2,730台とシルバーウィークの影響が大きい。

6. 産業観光課所管

1. 商工

(1) 商工振興

○雇用対策について

- ・中津川市雇用対策事業との連携（負担金：35千円）
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校：16冊）
ひがしみの就職面接会の開催（東美濃ふれあいセンター）町内企業1社
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口に設置（役場、南木曾会館）

○中小事業者雇用確保支援事業

- ・目的：町内中小事業者は雇用の確保が事業継続にあたって大きな課題となっている。都市部におけるU J I ターン希望者を対象にした事業所説明会を開催することにより、町内事業所への就労について働きかけを行い、雇用の確保と定住者の増加を図る。
- ・概要：町内中小企業者に説明会参加の希望をとると共に、町内出身者を中心にU J I ターンを希望する参加者を募り、南木曾町において事業所説明会(事業所へ訪問する事業)を開催。
- ・平成28年12月1日
町内事業者に対し雇用に関する意向調査を実施
調査内容：従業員募集の意向の有無、事業参加の有無、希望会場、募集内容
住宅確保の可否
- ・平成28年12月26日
南木曾町産業活性化検討委員会設置規約に基づく商工観光部会を開催
中小事業者雇用確保支援事業の概要説明。スケジュールについて説明。承認を得る。
- ・事業名称：なぎそまちをみてみよう 体験会
- ・募集対象：中京圏居住者。2日間参加でき、原則、移住を検討しており、中学生以下の子どもを持つ世帯5組
- ・参加費：1人2,000円（大人・子どもの区分なし）
- ・開催日：平成29年2月11日(土)～12日(日) 夕食朝食付
2/11 12:30～受付：南木曾会館
13:00～15:00 概要説明、町内各種施策説明
15:00～17:30 町内施設等見学
(住宅、観光施設、ろくろ体験、アイスクャンドル祭り)
18:30～ 先輩移住者との懇談会
2/12 9:00～ 企業訪問・面談
9:00～10:00 施設見学 事業所訪問をしない家族
10:20～ 終わりの会 アンケートの記入など
- ・参加者：1家族 3名

・告知事業

新聞社へ情報提供：中京圏の新聞社、テレビ局などメディアへのプレスリリース

新聞社へ訪問：平成 29 年 1 月 19 日 中日新聞、読売新聞、朝日新聞

告知イベント開催：平成 29 年 1 月 20 日

名古屋市中区栄地下街 クリスタル広場にて

産経新聞東海北陸版 平成 29 年 1 月 12 日 1 面広告

中日スポーツ 1 月 19 日 読売新聞 1 月 21 日 中日新聞 1 月 21、23 日

朝日新聞 1 月 25 日

・事業の課題

HP、Facebook 閲覧者は多いが、申し込み増につながらない。

※今回申込者は、新聞記事→町ホームページ

事業継続にあたって雇用の確保という大きな課題に対し、都市部における UJI ターン希望者を対象とした事業所見学会を開催することは、雇用の確保と定住者の増加を狙う一手段として有効であり、先行型として取り組む事業である。賛同した町内企業も雇用の重要性を認識している。都市部での移住セミナー開催後の日程で体験会の開催を検討。ゲストハウスとのコラボ企画も検討したい。

・事業の方向性に関する考え

2 月 26 日の楽園信州移住セミナーでは体験会や、ゲストハウスは利用してみたいとの声が聞かれた。U I J ターン希望者の目に触れることが、参加者増につながるのので、今後も様々な媒体を活用していきたい。

本年度実施した町を見ていただくイベントを基軸に事業展開を検討していきたい。

○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金・特別経営安定対策）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、平成 27 年度対比で減額（△17,450 千円）となった。融資内容としては、運転資金が約 92%（18,300 千円）を占めた。

・町中小企業振興資金（年利 2.0%）

預託金	総額	21,500 千円	
	八十二銀行	11,000 千円	岐阜信用金庫 6,500 千円
	木曽農協	4,000 千円	

・融資の状況

町制度資金	4 件	9,800 千円
県制度資金	1 件	10,000 千円
計	5 件	19,800 千円

・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金	4 件	273 千円
県制度資金	1 件	154 千円
計	5 件	427 千円

- ・災害影響による借入に対する利子補給

7件 1, 249千円

※運転資金6件、設備投資1件

○小規模事業者への指導

- ・小規模事業指導費として南木曾商工会に4,500千円を交付。経営指導、融資斡旋などを実施。
- ・南木曾スタンプ組合と南木曾町商品券加盟店会が統合され、H25に「なぎそ・おたのしみカード会」が発足。地域内消費拡大事業補助金として200千円を交付

○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ(WCN)の事業に114千円を交付。
- ・第31回南木曾町小学生木工造形コンクールの実施(展示は町民展と同時開催)
応募作品130点

○木材産業体験事業

- ・町内木工事業者の協力により、南木曾小学校3年生が間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。テーブル4台、ベンチ8台を町内観光地等へ配置した。
事業費 243千円、設置場所：桃介橋河川公園、南木曾小学校

○伝統工芸品の振興

町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため次の団体に助成を行うとともに、各種イベント・物産展への参加とPR及び販路拡大を図った。

- ・「南木曾ろくろ細工」(国指定伝統的工芸品) 南木曾ろくろ工芸協同組合 350千円
- ・「蘭檜笠」(県指定伝統的工芸品) 蘭檜笠生産協同組合 350千円
- ・「田立和紙」 田立和紙保存振興会 300千円

○南木曾地域産業労働安全大会

- ・町、木曾森林管理署南木曾支署、商工会共催
- ・7月28日 68名参加 南木曾町公民館 三留野分館
- ・講話「労働災害等の防止について」(松本労働基準監督署副署長)

○木曾勤労者共済会

- ・会 員 数 200名(平成29年3月末現在)
- ・加入事業所数 45企業
- ・共済給付事業 祝 金 32件 264,000円
見舞金 6件 180,000円
弔慰金 7件 80,000円
- ・融資事業(生活資金・住宅改良資金) 0件
町村預託金 2,000千円 長野県労働金庫木曾福島支店
- ・人間ドック利用補助 21件 132,716円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 978,952円

(2) 消費生活

○消費者相談等への対応

- ・町への苦情相談問い合わせ件数7件（内 クーリングオフ手続き指導：0件、契約解除指導：1件、警察へ通報・相談：0件、放送による周知：2件、相談受付のみ：4件）
- ・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施

○リサイクル運動 廃油の回収と廃油利用（回収実績1,0730）

(3) 運輸関係

○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曾地域交通網対策協議会で、JRへの要望活動を実施

平成28年11月17日 中央西線（JR東海）利用に係る要望書を長野県へ提出

平成29年 1月26日 「長野県JR連絡調整会議」（県庁）

○南木曾駅窓口業務の受託

JR東海の南木曾駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施

- ・町による窓口業務 平成24年10月1日～
- ・営業時間 午前7：50～午後4：05
(昼休憩 11：10～11：30 12：35～13：15)
- ・業務時間 午前7：30～午後4：30
- ・窓口従事者 1人体制
- 乗車券類販売額 45,882千円 (H27 48,768千円)
- 販売手数料 2,139千円 乗車券5%、定期券1.8%
(H27 2,292千円)
- ・運営経費 賃金:3,031 需用費:281 使用料:19 (単位:千円)
※H27 賃金:3,189 需用費:259 使用料:19 (単位:千円)

(4) 地元特産品の宣伝開発等

○工芸街道祭り（実行委員会主催）

11月5日～11月6日 (町補助金：300千円)

2. 観光

(1) 観光行事、イベント関係

○第15回なぎそミツバツツジ祭り（実行委員会主催）

4月9日～17日 (町補助金：300千円)

来客数：5,188人 バス・マイクロバス 44台 乗用車1,593台 二輪車34台

※H27 来客数：4,477人 バス・マイクロバス 26台 乗用車1,361台 二輪車11台

出店者売上（14店） 2,868千円

○田立の滝滝開き

4月28日

○蘭桧笠生産協同組合総会

5月18日

○南木曾ろくろ工芸組合総会

5月26日

○南木曾山麓蘭キャンプ場・南木曾岳登山安全祈願祭	6月11日
○田立和紙保存振興会総会	7月16日
○桃介夏祭り	8月15日
○妻籠宿火まつり	8月27日
○与川古典庵の観月会	9月15日
○田立の花馬祭り	10月 2日
○工芸街道祭り	11月 5日～6日
○文化文政風俗絵巻之行列	11月23日
○新春狼煙上げ	1月 4日
○信州DCプレ企画 いろいろ木曾路号の特別運行	
長野～南木曾駅間 利用実績 577 名	9月24日～25日
○JR東海 秋の特別観光列車とのタイアップ 中山道トレイン	
名古屋～奈良井間 利用実績 1,840 名	11月 3日～6日
○その他の観光展・イベント等への参加	
・プレ信州DC名古屋駅観光キャラバン (5月13日)	名古屋駅
・日本で最も美しい村連合長野県会議物産展 (7月1日)	金山駅
・伊那路木曾路広域連携観光PR展 (9月2日～3日)	神戸市
・しあわせ信州観光キャンペーン (9月4日～5日)	名古屋駅
・町並みゼミ大内・前沢大会 (9月9日～11日)	福島県大内宿
・高速バスパックPRキャンペーン (9月13日～14日)	神戸市
・「日本で最も美しい村」フェスティバル (10月6日～8日)	静岡県松崎町
・森将軍塚まつり (日本遺産) (11月3日)	千曲市
・日本で最も美しい村長野県会議観光物産展 (11月17日～18日)	東京都
・スローフードフェスタ in なぎそ (1月28日)	南木曾町
・木曾スローフード街道フェスタ (2月4日)	木曾町
・氷雪の灯り祭り (2月11日)	妻籠宿
・日本遺産物産展 (3月5日)	金山駅
・中山道研修 (3月13日)	各務原市
・旅まつり名古屋 (3月18日～19日)	名古屋市

(2) 広告宣伝関係

○パンフレット類の作成 (一部観光協会とタイアップ)		
・ぶらり南木曾 25,000 部、ガイドマップ南木曾 30,000 部		1,428,840 円
・桃介橋リーフレット	10,000 部	104,760 円
・柿其溪谷リーフレット	10,000 部	118,800 円
・妻籠宿パンフレット	20,000 部	142,560 円
・南木曾路ガイドマップ	10,000 部	118,800 円
・JR東海タイアップポスターB1 50 枚、B3 225 枚		131,490 円
・妻籠宿、柿其溪谷B1ポスター	各 100 枚	604,800 円

○メディア関係広告掲載

- ・新聞広告、旅行紙広告に観光協会とタイアップして掲載（年間随時）
- ・各種取材への対応
- ・TV放送取材の対応

○南木曾町観光協会公式ホームページ「ぶらり南木曾」

管理、運営

- ・英語版、スマホ英語版への対応（観光協会Webサイトリニューアル業務）

業務委託費 2,829,600 円（地方創生加速化交付金事業）

(3) 観光施設

○田立の滝登山道整備事業 工事費 8,944千円 ※H27 繰り越し分

登山道の階段・梯子などを整備

○田立の滝登山道整備事業 工事費 3,970千円（前払分）※H29 へ一部繰越し

登山道の階段・吊橋などを整備

○与川歴史の道トイレ整備事業 工事費 4,104千円 ※H27 繰り越し分

歴史の道沿いへ公衆トイレ（バイオトイレ）を整備

○南木曾岳登山道整備事業 工事費 4,968千円

登山道の階段・梯子などを整備

○国際観光地を目指した中山道と南木曾駅周辺観光地魅力アップ事業

元気づくり支援金事業 工事費 1,497千円

中山道と南木曾駅周辺観光地の案内看板を修繕、インバウンド対策で英語表記の記載。

○観光施設、登山道、歩道等の維持管理（草刈、小修理など）

- ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道、川西古道、与川歴史の道、SL公園ほか
- ・天白公園ツツジ園（中学生、シルバー人材センターによるボランティア作業も実施）

○観光案内板等の小修理、維持管理

- ・田立の滝、川西古道、南木曾岳、柿其溪谷、天白公園、妻籠宿他

○福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合

（指定期間）平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

指定管理料：1,600,000 円（河川公園と併せて）

(利用状況)

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3月	合計	H27実績
447	244	180	207	267	125	222	348	0	35	2,075	2,236

※12月～3月下旬まで冬季閉館

○観光地整備事業補助金の交付

*観光団体	観光協会与川支部
・事業名	観月会入場者用ブルーシート購入
・事業費	30,000円(補助金:27,000円)
*観光団体	南木曾山麓蘭キャンプ場組合
・事業名	キャンプ場遊歩道整備
・事業費	850,000円(補助金:700,000円)
*観光団体	南木曾ろくろ工芸協同組合
・事業名	園地・遊歩道整備事業
・事業費	1,004,400円(補助金:700,000円)

(4) 広域観光連携の取り組み

○木曾観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み

- ・「木曾路フリーきっぷ」とのタイアップ(主催:JR東海)
バス・タクシー利用券+観光施設無料入場券(4,000円)
お買い物券(妻籠宿登録店:2,000円)
- ・信州DCプレ企画「いろどり木曾路号」の特別運行
長野から南木曾駅への観光臨時列車の運行(9月24日~25日)
*利用者:577名
- ・「中山道トレイン」の特別運行
名古屋駅から奈良井駅への観光臨時列車の運行(11月3日~6日)
*利用者:上下合計1,021名(H27年度:1,840名)
- ・「日帰り1day木曾路」
宿場町散策マップを付けた旅行商品(通年販売)
*利用者:1,610名(H27年度:378名)

○木曾広域観光振興プロジェクト会議との連携

- ・「季刊誌木曾路(年4回発行)」による旬な情報発信他

○中津川市、阿智村、木曾広域圏との連携

- ・県際交流協議会 広域観光連携の推進 着地型旅行商品の研究
(南木曾町・中津川市・大桑村・上松町・王滝村・阿智村)

○伊那路・木曾路広域観光連携会議との連携

- ・伊那路木曾路広域連携観光PR展inさんちか(神戸市 3月)
- ・伊那路木曾路広域観光推進懇談会の開催(伊那市 2月)
- ・伊那路木曾路広域連携 旅まつり名古屋(名古屋市 3月)
- ・伊那路木曾路トレイルガイドの作成

(5) 観光協会等

- 南木曾町観光協会 (町補助金:通常分 550,000円 観協人件費分 3,672,200円)
※内地方創生交付金 3,000,000円 観光一般分 672,200円

- ・ 7月7日総会開催
- ・ 観光案内、宣伝、イベントへの参加協力、取材協力と案内、広告掲載
- ・ インバウンド事業への取り組み
海外の旅行社、マスコミ関係者の対応・案内
- ・ 県、木曾観光連盟の誘致活動への協力
- ・ 各支部加盟団体との連携協力による活動

○南木曾駅観光案内所 臨時職員を雇用し、1日1名体制（4名で運営）
（開設期間）平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問合 件数	H28	554	557	377	528	590	591	730	616	272	212	269	545	5,841
	H27	635	383	239	330	491	445	459	496	223	180	175	379	4,435
	H26	374	371	164	134	293	317	332	370	146	5	112	254	2,872
訪問 人数	H28	1,329	1,230	783	1,153	1,315	1,350	1,567	1,557	564	433	750	1,365	13,396
	H27	1,709	893	503	846	1,163	805	1,225	1,142	472	356	482	967	10,563
	H26	711	705	279	202	474	555	603	690	236	9	187	444	5,095
外国 人数	H28	3,133	2,313	1,378	2,290	2,360	1,877	3,476	2,183	725	464	597	1,627	22,423
	H27	3,165	2,114	989	1,769	1,968	1,657	2,393	1,883	589	371	534	1,531	18,963

（業務内容）観光客案内、駅前公園の清掃、その他庶務

○木曾観光復興対策協議会

観光業を中心として深刻な影響を受けた木曾地域の復興を図るため、県、郡内町村、木曾広域連合、木曾観光連盟、木曾郡内観光協会等で組織する協議会を平成26年度に設立。復興事業、PR活動等実施した。

加盟団体：木曾観光連盟、長野県観光連盟、日本観光協会、みなみ木曾路連絡協議会、中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曾地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曾伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曾路広域観光連携会議

○観光客入込数

単位：百人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曾 山麓	南木曾 温泉郷	富貴畑高 原温泉郷	合 計
H28	3,943	148	31	145	412	117	4,796
H27	4,183	148	51	157	368	91	4,998
H26	3,975	145	67	140	415	85	4,827
H25	4,834	163	103	159	481	126	5,866

3. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合

- ・ 4月 8日 連合長野県会議 原村
- ・ 4月19日～20日 連合担当者会議 東京都
- ・ 5月25日～27日 連合定期総会・戦略会議 福岡県八女市
- ・ 6月18日～19日 連合長野県会議観光物産展 静岡県松崎町
- ・ 7月 1日 連合長野県会議PR活動（名古屋） 金山駅
- ・ 10月6日～8日 連合臨時総会・フェスティバル 静岡県松崎町
- ・ 11月16日～18日 連合長野県会議PR活動 東京都
- ・ 11月30日～12月2日 連合学習会 長崎県小値賀町
- ・ 2月24日 連合理事会 東京都

○長久手市との交流

通年：観光施設で交流町村優待サービス事業

- ・ 4月 1日～ 新生児祝い品事業 実績数：636件（H27：493件）
- ・ 7月12日 平成こども塾受け入れ打合せ 南木曾町
- ・ 8月10日 平成こども塾受け入れ（マスカミ） 参加者：長久手市 35名
南木曾町 26名
- ・ 10月18日 ながくて市民祭り実行委員会 長久手市
- ・ 11月13日 ながくて市民祭り 長久手市

○上下流交流

- ・ 5月11日 上下流交流実行委員会 木曾町
- ・ 8月24日 上下流交流実行委員会 木曾町
- ・ 12月 4日 上下流インターネットフォーラム 名古屋市
- ・ 3月30日 下流域団体との意見交換会 木曾町

○木曾三川流域連携

- ・ 4月15日 木曾三川流域連携課長会議 名古屋市
- ・ 8月25日～26日 木曾三川流域自治体サミット in 揖斐川 揖斐川町
- ・ 10月 7日 木曾三川流域連携課長会議 名古屋市
- ・ 1月13日 木曾三川流域連携課長会議 名古屋市
- ・ 1月19日 木曾三川流域連携シンポジウム 名古屋市

平成28年度 商工観光関係 工事関係

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
田立の滝登山道整備事業 (H27から繰越し)	登山道整備工	設計費 821 工事費 8,944 工事総額 14,904			9,000		765	L=462m 階段設置 27m X1払い 400m 吊り橋修繕 35m
田立の滝登山道整備事業 (H29へ一部繰越し)	登山道整備工	工事費 (前払分のみ) 3,970 工事総額 9,936			3,500		470	吊橋修繕 階段設置 30m
観光地(与川歴史の道)トイレ 整備事業 (H27から繰越し)	公衆トイレ整備	設計費 216 工事費 4,104			4,000		320	バイオトイレ1基
国際観光地を目指した中山道と南 木曾駅周辺観光地魅力アップ事業	看板整備工	事業費 1,497		1,110			387	南木曾駅周辺と中山道 案内補助看板 53か所
南木曾岳登山道整備事業	登山道整備工	設計 378 工事費 4,968			5,000		346	木製階段補修 倒木処理、笹刈払い

4. 農政関係

(1) 農業委員会事務局関係

①委員会協議・処理対応事項

- ・ 定例委員会 12回(毎月)
- ・ 農地案件の現地確認調査
- ・ 農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議と農地流動化対策について検討
- ・ 転作の現地確認・中山間直払等現地確認
- ・ 農地利用状況調査・農地利用意向調査
- ・ 農地無断転用防止のパトロール活動
- ・ 農作業安全運動推進PR
- ・ 農作業標準料金、標準小作料の審議
- ・ 農地農家台帳の整備(フェーズ2への移行)
- ・ 町内各生産部会等への参画と町内農事懇談会への参加
- ・ 全国農業新聞普及・拡大の取り組み
- ・ 長野県農業委員大会と各種研修会(県農業会議・情報活動・郡事務研)への参加

②農業委員名簿

任期 平成27年2月15日～平成30年2月14日

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
長瀬 充章	田立全域	公選	勝野 芳成	神戸・妻籠・大妻籠	公選
小倉 勉	与川・十二兼	公選	高橋 民義	田立全域	公選
松下 建三	上在郷・蘭・広瀬	公選	伊藤 兼彦	妻籠・大妻籠・上在郷	公選
田口 義廣	北部全域・金知屋	公選	古井 小恵子	田立全域	議会推薦
尾崎 省吾	上在郷・蘭・広瀬	公選	山川あゆみ	上の原・三留野	議会推薦
小倉 敏保	田立全域	公選	早川 親利	川向北部	農協推薦
松原 規行	三留野・与川	公選	13名		

③平成28年度農地関係取扱件数

(面積は小数点以下第1位で四捨五入)

内 容	件数	面積(m ²)
農地法第3条による所有権移転(売買等による農地の所有権移転)	5	5,599
農地法第4条による農地転用 (所有権者本人による農地以外への転用)	1	263
農地法第5条による農地転用 (所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用)	5	8,822
公共事業による農地転用	3	6,208
現況証明	0	0

参考：平成28年度における農地以外への地目変更面積 15,293 m²

(2) 農業振興関係

①経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曾郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。農業委員と集落協定関係者で現地確認を実施した。

・事業の内容

南木曾町への米の生産目標数量は449tに対して確定(実績)数量は524tであった。町内に交付された交付金は総額10,366千円(27年度12,075千円)となった。

○米の直接支払交付金

作物名	単価 (円/10a)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
主食用水稻	7,500	5,133	3,849,750

○畑作物の直接支払交付金

作物名	面積 (㌥)	交付金額 (円)
そば	36	73,500

○水田活用の所得補償交付金

(1) 戦略作物助成

作物名	単価 (円/10a)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
大豆	35,000	28	98,000
飼料作物	35,000	830	2,905,000
飼料作物(2毛作)	15,000	6	9,000
発酵用稲(WCS)	80,000	211	1,688,000
合計		1,075	4,700,000

(2) 産地交付金

	単価 (円/10a)	交付金額 (円)
産地資金	※下記単価参照	1,352,444

※対象作物要件：助成対象水田で品質向上、生産性向上の取り組みがなされていること
 (以下10㌥当り単価) そば：5,000円 飼料作物：8,000円 WCS：20,000円、スイートコーン・
 赤かぶ：25,000円 インゲン・トマト・えごま・トルコキキョウ：20,000円

(3) 耕畜連携交付金

	単価 (円/10a)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
水田放牧	13,000	301	391,300

②地域農業対策

町では地域営農体制の整備、農地の有効活用をとおり、持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため各種の取り組みを実施した。

※大家畜特別支援金融資利子補給金 2名 41,368円

※農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

平成28年度利用実績 0件 貸付現在高(平成28年度末) 0件 0円

※農振農用地一般管理事業

編入面積0㎡ 除外面積657㎡ 用途変更510㎡

※農地流動化対策

年度別流動化面積(農業経営基盤強化促進法に基づくもの)

年	設定面積	年度末設定面積合計
平成23年	6.88ha	20.1ha
平成24年	2.88ha	20.6ha
平成25年	6.06ha	22.0ha
平成26年	5.08ha	22.5ha
平成27年	10.55ha	27.2ha
平成28年	7.25ha	26.7ha

(設定面積は該当年度における利用権の新規設定および更新の合計)

③中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は、第4期対策として平成27年度から5年間の取り組みが始まった。取り組みは、約172戸の農地を対象に26集落1個別協定で実施。

交付金の配分については各集落毎の取り決めにより個人配分が0%～50%、共同取組分が100%～50%の割合で配分され各集落で活用されている。平成28年度の各集落への交付金支払状況と、平成27年度交付金の集落における主な共同取組分の使用状況は次のとおり。

交付金 36,655,696 円（内訳：国 18,327,839 円. 県 9,163,904 円. 町 9,163,953 円）

平成28年度交付金				平成27年度交付金(共同分)の主な使用状況					
集落名	農家数 (戸)	参加農地面積 (㎡)	支払交付金 (円)	共同分 (%)	農道・水路 管理費 (円)	鳥獣被害 防止対策 費 (円)	共同利用 機械購入 等費 (円)	共同利用 施設整備 等費 (円)	その他 (円)
与川1区	19	88,792	1,733,662	100	773,875	86,800		646,296	22,312
与川3区	17	81,445	1,628,445	60	1,220,944				74,026
与川4区	14	72,358	1,368,679	70	163,000		2,700,236	10,860	23,600
与川5区	8	33,662	813,972	70	270,933				40,000
十二兼	11	51,411	994,739	60	292,701	11,356	51,700		42,760
本谷	20	81,034	1,701,714	50	190,053				2,350
岩倉	21	84,878	1,856,172	70	1,952,944	315,650			3,318
椰野	5	20,409	428,589	70	300,432				
川向	5	27,712	409,209	80	357,000				
上の原	20	137,381	3,230,888	50	22,399	64,150	2,801,550		230,708
神戸	17	44,038	975,522	70	186,438				55,500
渡島	4	11,304	202,769	60	12,982				540
妻籠町上	15	43,718	715,463	60		53,664			150,780
橋場	16	43,728	916,748	50	666,873				40,539
大妻籠下り谷	12	60,982	1,337,852	70	814,800	90,000		218,373	100,000
上在郷	14	49,810	1,143,456	60	303,913	237,640		91,264	22,752
尾越	10	18,470	426,516	70	756,000				
上段	21	53,759	1,128,939	60	917,639				60,000
蘭	14	20,593	432,453	60	251,664				71,817
元組	30	90,611	1,902,831	70	675,907	170,500			537,008
向栗畑	26	103,977	2,141,237	70	114,480	14,400		1,453,696	26,082
栗畑	32	117,876	2,428,030	70	954,980	111,520			59,991
下切	26	93,318	1,949,069	50	105,000	221,730	550,000		296,793
大野	11	64,792	1,667,766	70					736,164
正兼	20	80,822	1,982,106	70	600,000	614,004			26,645
塚野	31	130,984	2,860,116	70	651,500	767,478	1,240,000		106,308
神橋(個別)	—	13,274	278,754	—	—	—	—	—	—
計	439	1,721,138	36,655,696	—	12,556,457	2,758,892	7,343,486	2,420,489	2,729,993

④水田農業共同利用施設整備事業

事業内容 南部ライスセンター荷受計量機及び搬送設備

事業主体 木曾農業協同組合

事業費 8,078,400円【内助成金748,000円（郡再生協議会）、町村補助2,262,000円（南木曾町1,606,000円、大桑村656,000円）、自己資金5,068,400円】

⑤園芸特産振興事業

茶振事業

田立製茶工場は5月3日～5月22日まで19日間操業し、生葉17.2トンの受け入れを行った（前年度△5.7ト）。7月15日に開催された第43回長野県茶の共進会は南木曾町から7点出品され3等1品が入賞した。（褒賞授与式：10月7日、天龍村）

製茶工場の運営は、高齢化・天候不順等により生葉の総受入数量が減少している。買取希望数量は増加する傾向が続いている。今年度は操業期間を減らし、人件費の削減により黒字化した。

野菜関係

地産地消の意識の高まりから、農協を通じたり、農家の自主的運営で野菜直売が行われている。農協を通じた直売は田立地区を中心とした農家で取り組まれ、Aコープで販売されている。えごまの作付け・消費拡大等を目指して水分計を導入した。

消費拡大を目的に生産・販売・消費・観光関係者で「地産地消推進会議」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。「軽トラ市場」は7月から12月まで17回開催した。直売所の支援として、ラベルプリンターを導入した。

その他学校給食食材供給者に対して運搬費補助を実施した。

（軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況）

開催数	売上合計	出店者数	開催場所
17回	507,050円	77店	南木曾駅横駐車場 南木曾町役場前駐車場 社会体育館駐車場（福祉祭り） 笠の家駐車場（工芸街道まつり）

（学校給食食材提供運搬補助実績）

	【小学校】			【中学校】		
	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)
合計	62	16,420	123,590	123	33,450	126,825

花卉・花木関係

芍薬の試験栽培（430株）として、水田農業経営確立推進事業補助金を活用し苗を購入しJA南部花卉部会員を中心に配布した。

みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した（対象戸数6戸）。

結果、発生は確認されなかった。

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

⑥畜産振興事業

- 家畜飼育状況（平成 29 年 2 月末現在）（単位：頭）

年度	乳 牛		肉用牛		馬	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖雌牛数	農家数	頭数
23	1	34	12	87	1	2
24	1	31	12	75	1	2
25	1	31	12	78	1	2
26	1	31	10	65	1	2
27	1	27	10	59	1	2
28	1	30	10	61	1	2

- 家畜市場状況の推移（南木曾町）（単位：平均金額・売上合計＝千円）

年度	雌		去 勢		計		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
23	42	359	39	403	81	382	31,230
24	37	395	30	414	67	402	27,572
25	24	442	35	510	59	482	28,431
26	27	506	33	549	60	529	31,798
27	31	565	26	723	57	637	36,347
28	25	671	28	811	53	745	39,490

※家畜市場の市況は、全国的に繁殖和牛農家が減少し、子牛が不足していることから、今年度も高値で取り引きされた。

- 畜産の活性化事業
 - 肉用飼育牛の更新を進め畜産農家の経営安定を図るため、素牛導入に対する支援を行った。
素牛導入数 1 頭（1/2 補助、294.5 千円）
- 家畜診療関係
 - 平成 16 年度から NOSAI 中信診療所へ委託。
 - 平成 28 年度は、運営負担金 471,000 円・木曾地域特別負担金 100,000 円を支出した。
- 町単肉用牛導入事業
 - *平成 28 年度 町有牛の導入なし
 - 年度末保有町有牛 8 頭（1 代目 8 頭）評価額 計 4,452,247 円
- 農事組合法人長者畑草地利用組合関係
 - 飯伊木曾畜産基地建設事業で平成 2 年に着手し平成 5 年に完成し利用組合（現在組合員 6 戸）へ管理委託している。耕地は草地林地一体的利用総合整備事業で平成 13～14 年度にかけて草地更新を実施してきたが、近年では機械の経年劣化、鳥害対策、組合員の高齢化、草地への外来雑草の侵入による生産力低下などの様々な事情により、平成 28 年度は 49 ロールの生産となった。平成 28 年度は県の協力を得て外来雑草の防除技術ならびに生産力回復のための現地研究を依頼し、（独）家畜改良センターの協力のもと草地更新を実施した。
 - 長者畑草地利用組合への助成金 1,260,222 円
（国有林賃借料、車検代、施設・車両修繕、草地更新）
- 大原公共採草地管理関係
 - 大原公共採草地管理組合（組合員 6 戸）に、草地利用・管理を委託するとともに、ロールラップサイレージ（牧草ロール）の調製を推進した。現在、草地の一部を公共工事の残土処理場等として一時的に利用しているが、一部返地がされ、牧草を播種し草地としての利用を開始した。
 - 今後は、組合員の高齢化や家畜頭数の減少、畜産農家近隣の利用権設定による牧草作付が増えてきたことなどから草地の活用方法は今後の課題である。

・放牧関係

飼料自給率の向上と労力軽減を図ることを目的とした放牧事業（小規模ブロック移動放牧）を平成23年度から引き続き実施した。牛の放牧については、コスト的なメリットがあるものの、放牧する場所が点在し毎日の見回りに労力を要すること、牛での移動等が容易ではない、畦畔を崩すなどの課題があがっている。

放牧期間・面積 5月から10月（6カ月）500㍍（前年600㍍）

放牧場所 上の原、与川、柿其などで放牧を実施。

数年前から、牛の放牧に加えて綿羊（サフォーク種）の放牧も実施しており、牛に比べて移動が容易である等のメリットがあるが、個体数が少なく需要に追いついていない状況である。

⑦農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

・電気柵を購入・設置した場合に購入経費の2分の1を補助（上限3万円 ただし中山間地域直接支払制度受益農地は対象外）を実施した。

・28年度実績 1件 補助金 30,000円

⑧農業技術、生活改善等の普及指導、試験研究

農業関係の普及事業等について農業改良普及センターや農協との連携及び農技連の活動により推進した。

・農事（気象・防除等）に関する広報活動

・農技連総会 12月14日

・イネ鉄コーティング剤によるWC S灌水直播栽培検討会議 4/28、3/14

実施場所与川・上の原・元組・向栗畑（5月下旬～6月上旬 播種1.04ha）

・稲作現地指導会 7月（26か所）

・施肥防除基準説明会 11月（24か所）

・冬期農事懇談会 3月1日～3月7日 4日間 22か所 参加179名

・むらおこし活動支援 岩倉むらおこし組合

・農作物災害対策（凍霜害ほか）

・病虫害駆除対策

⑨農業共済組合との連絡調整 組合と農家との円滑な連絡調整を図った。

(別表)

平成 28 年度 農政関係主要事業

(1) 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農業委員会運営費			2,933		1,132			1,801	ソト事業
機構集積支援事業			1,256		994			262	ソト事業
合計			4,189		2,126			2,063	

(2) 農業振興関係

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農業経営基盤強化資金利子補給事業			41					41	ソト事業
中山間地域等直接支払交付金			36,656		27,492			9,164	
水田農業経営確立推進事業			749		538		182	29	
園芸特産振興事業	直売所組合	カラーハウス ^ハ 製作成機 穀物水分計	388					388	地方創生関係
NOSAI 中信家畜診療所負担金			571					571	
長者畑草地利用組合関係事業			1,260					1,260	
素牛導入事業		和牛 1 頭	295					295	
むらおこし組合施設運営補助事業			50					50	
南部ライスセンター設備補助	JA 木曾	荷受設備及び 搬送設備一式	1,606					1,606	

5. 農村整備関係

(1) 町単小規模修繕事業

○土地改良施設原材料支給

・農道整備原材料支給

各区で実施する農道の生コン舗装等の原材料支給を行った。(1件)

・水路改良原材料支給

各水利組合等で実施する水路整備のための原材料支給を行った。(2件)

○水路修繕

・中山間直接支払制度の対象地域外の水路修繕を行った。(10件)

(2) 土地改良施設維持管理適正化事業

本事業は、施設の整備や補修など維持管理を目的に事業費の3割の額を5年の間に拠出金として積立て、事業実施年度に国県の補助金を合わせた9割の交付金と1割の受益者負担で工事を実施した。

平成28年度は、鹿の島地区の「本原水路」の改良工事を行った。なお、塚野地区の掘立水路を平成33年度に実施できるように採択申請を行った。

(3) 農地農業用施設災害復旧事業

平成26年7月9日発生豪雨災害については、平成27年度繰越事業の6箇所（頭首工4、水路2）を竣工した。

本年度に発注した3箇所（頭首工2、水路1）のうち1箇所が竣工し、残事業の2箇所（頭首工1、水路1）については、国発注の砂防堰堤工事の工期延長に伴い施工を繰越した。

平成28年災については、近年のゲリラ豪雨にて4月から8月までの間に6箇所（水路5、農道1）が被災し町単災害復旧を行った。

また、9月発生台風16号の影響により8箇所（畑3、水路5）が被災し町単災害復旧により7箇所（畑3、水路4）を復旧し、国庫補助事業にて復旧する1箇所を繰越した。

(4) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、測量試験費と長土連特別賦課金で行える事業。（県は工事、町は設計を行う。）

橋場地区「大島いすぎ水路」、恋野地区「赤坂ため池」の採択申請を行った。

県にて繰越していた、上の原地区「中の平」水路工L=110.0m 工事費4,244千円、坂の下地区「寺井水路」水路工L=51.0m 工事費5,140千円を8月に竣工した。

また、「大島いすぎ水路」は水路工L=130.0m 工事費4,320千円にて3月に竣工し、「赤坂ため池」は次年度繰越しとなった。

(5) 農村地域防災減災事業

与川大橋は平成25・26年度に橋梁の構造解析モデルを構築し大規模地震に対する耐震性の評価・耐震補強の検討を行った。

本年度は災害防止効果の算定や事業計画を策定し、県営事業新規地区採択申請を行った。

(6) 小水力利活用促進事業

平成27年度に行った小水力発電案件形成事業により、経済性が見込まれた細の洞水

路についての詳細な発電計画、概略施工計画等を策定し経済性の評価やCO2削減効果も含めた総合評価を行い、事業採択に向けた準備を進めた。

(7) 国土調査事業

平成28年度の国土調査事業は田立大野正兼地区の山林部を実施した。

事業実績	調査区名	事業内容	事業費
地籍調査事業	田立の一部 21区	一筆地測量、地積測量 最終取りまとめ 0.28 k m ²	10,356,984円 (9,800,000円) () 内補助対象額
	田立の一部 22区	地籍図根多角測量、一筆地調査 地籍細部測量 0.38 k m ²	

国土調査実施地区一覧

年度	地区名	成果面積 (Km ²)	成果筆数 (筆)	区分	認証日	登記完了日
52-18	本谷～下切 28 地区	17.23	23,830	平地		
18-19	塚野の一部(山林)	1.10	52	山林	20. 3. 31	20. 5. 14
19-20	塚野の一部(山林)	0.90	49	山林	21. 4. 2	21. 6. 5
20-21	下切の一部(山林)	0.20	21	山林	22. 7. 1	22. 8. 2
21-22	下切の一部(山林)	0.32	22	山林	24.11.12	25. 3. 8
22-23	塚野の一部(山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25. 3. 8
23-24	塚野の一部(山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26. 6. 6
24-25	塚野の一部(山林)	0.09	25	山林	26. 6 申請	未
25-26	塚野の一部(山林)	0.33	71	山林	未	未
26-27	塚野・大野正兼の一部(山林)	0.46	105	山林	未	
27-28	大野正兼の一部(山林)	0.28	67	山林	未	
28-29	大野正兼の一部(山林)	0.38	156	山林		
計		21.61	24,473			

地籍調査対象面積 69.72 k m² (平坦部17.23 k m² 山林部52.49 k m²)

平坦部成果面積計 17.23Km² (進捗率100%)

山林部成果面積計 4.38Km² (進捗率8.3%)

(8) 多面的機能支払交付金事業

平成26年度から始まった制度で、農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者が共同して取り組む地域活動や地域資源（水路・農道等）の資質向上に資する活動を支援するもので、平成28年度は23集落、約160㍊の農地を対象に約1千万円（町1/4、県1/4、国1/2）の交付金が支払われた。

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	885	756,280	上在郷	489	361,860
与川3区	813	703,544	尾越	208	62,400
与川4区	694	464,260	上段	545	403,300
与川5区	347	103,500	蘭	213	157,620
十二兼	556	465,728	元組	934	688,780
本谷	783	391,500	向粟畑	1,056	767,840
岩倉	849	753,912	粟畑	1,154	803,980
椰野	202	60,600	下切	939	264,500
川向	276	73,000	大野	626	313,000
上の原	1,405	688,640	正兼	806	596,440
神戸	440	325,600	塚野	1,308	967,920
橋場	462	306,768	合計	15,990	10,480,972

[別表]

平成28年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係
①. 農道整備事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	
町単農道整備事業	細の洞	原材料支給 1箇所	83			83	細の洞: 砕石15㎡
農村地域防災減災事業	与川	与川大橋計画概要書作成業務	4,201	2,100		2,101	
小計			4,284	2,100		2,184	

(単位: 千円)

②. 小水力活用促進事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	
小水力農業用水利活用促進事業	細の洞	概略設計業務 一式 大沢田沢流量観測業務 一式	5,004			4	
小計			5,296	5,000		296	

③. かんがい用水路改良事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	
土地改良施設維持管理適正化事業	本原町	水路改良 L=133.8m	6,016			5,415	口広瀬2・恋野・新道・鹿の島2・下仲町 東町・大島・郡野
町単水路改良事業	本東町	水路修繕 10箇所 原材料支給 2箇所	1,412			221	本町: U字溝 東町: セメント
県単緊急農地防災事業	橋場恋野	大島いすゞ(水路)設計一式 赤坂(ため池)設計一式	346			35	工事は県直営 3月竣工
小計			8,386			448	工事は県営・繰越し

④. 災害復旧事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	
町単災害復旧事業	町内	修繕14箇所(水路10農道1畑3)	4,258			93	
国庫災害復旧事業	南野	査定設計一式 実施設計一式 水路補強土壁工 L=9.0m	1,674			1,674	前払金のみ 残事業は繰越 補助金は次年度会計で納入
H26.7.9災害復旧関連	現線	年度分 繰越事業分	59,158	53,402	100	260	
小計	H27年度実施未申請分補助金		29,116	24,430		3,720	
			103,186	81,943	100	4,073	△4,111
土地改良事業合計			121,152	84,043	100	4,979	27,030

2. 国土調査事業関係

(単位:千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
国土調査事業	田立大野正兼山林21, 22区	21区(0.28km ² : 57筆)	10,357		7,350				3,007	
		22区(0.38km ² : 121筆)								
	国土調査事業合計		10,357		7,350				3,007	

農村整備関係合計			131,509	5,000	91,393	100	4,979	30,037	
----------	--	--	---------	-------	--------	-----	-------	--------	--

平成26年7月9日豪雨災害復旧関係

◆平成27年度繰越事業◆

委託料

単位:千円

区分	箇所及び工種	事業費	国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源	備考
委託料	梨子沢2・大井水変更設計 現場技術監理業務 一式	4,180					4,180	

工事費

区分	箇所及び工種	事業費	国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源	備考
本復旧工事	梨子沢2・大井水 頭首工・水路	10,821		10,357		3,712	△ 3,248	H27年度分 水道負担金含む。
	梨子沢3・4・学校上 頭首工2・水路	10,012		9,981		6	25	
	梨子沢5 頭首工	4,103		4,092		2	9	
合計		24,936		24,430		3,720	△ 3,214	

平成27年度繰越事業 合計		29,116		24,430		3,720	966	
---------------	--	--------	--	--------	--	-------	-----	--

◆平成28年度実施◆

委託料

単位:千円

区分	箇所及び工種	事業費	国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源	備考
委託料	梨子沢3・4学校上変更設計 梨子沢1・平岩変更設計 梨子沢2上流護岸実施設計 残事業査定設計 一式	2,527					2,527	

工事費

区分	箇所及び工種	事業費	国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源	備考
本復旧工事	梨子沢1・平岩 頭首工・水路	47,840		47,695	100		45	
	梨子沢2上流護岸 頭首工	5,962		5,707		237	18	
合計		53,802		53,402	100	237	63	

修繕費

区分	箇所及び工種	事業費	国庫 支出金	県 支出金	地方債	その他	一般財源	備考
本復旧付帯修繕	仮配水4、頭首工4、水路2	2,829				23	2,806	

平成28年度実施 合計		59,158		53,402	100	260	5,396	
-------------	--	--------	--	--------	-----	-----	-------	--

総合計		88,274		77,832	100	3,980	6,362	
-----	--	--------	--	--------	-----	-------	-------	--

6. 林 務

(1) 林業振興関係

(ア) 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

① 林業指導啓発事業

南木曾町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

② 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて505,005円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位: ha・円・m)

作業種	28年度		27年度		26年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	2.80	—	1.75	—	1.75	—	
枝 打	—	—	—	—	—	—	—
除 伐	2.55	—	—	—	—	—	
獣害防止	2.80	—	3.90	—	8.92	—	
間 伐	17.97	505,005	11.71	299,987	50.29	551,599	
除間伐	1.10	—	—	—	—	—	
搬出間伐	3.20	—	4.17	125,007			
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	1.30	—	—	—	—
(竹林整備)	—	—	(1.30)	—	—	—	—
計	30.42	505,005	22.83	424,994	77.62	551,599	
作業路	614.54	—	—	—	—	—	
合計	30.42	505,005	22.83	424,994	77.62	551,599	

国庫補助事業の対象となる搬出間伐を日陰ボケ町有林で実施したが、町発注業務としたために、嵩上補助の対象とはなっていない。保育間伐が中心の整備事業は例年並みに進んでいる。森林税事業は補助率が高いことから、町の嵩上げ補助の対象から除外している。

③ 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曾町林業研究クラブに350,000円を補助した。

④ 民有林整備計画基礎調査

今後の民有林整備を実施するために、整備計画の立案が不可欠であることから、民有林全域を対象とした基礎調査を実施した。これにより樹種・材積の他、搬出間伐に必要な作業道の開設箇所等計画データが収集でき、今後の整備計画の基礎資料とすることができた。 事業費 14,040,000円(地方創生推進交付金事業)

(イ) 植樹祭

全国植樹祭が長野県開催となったことから、県内県民植樹木曾会場として吾妻 漆畑地区町有山林・地区共有山林・個人有林において、県内各会場に先んじて盛大に植樹祭を開催した。
された。

開催日 平成28年5月21日(土)
時間 午前10:00~11:30
場所 吾妻 漆畑地区 木地師の里
参加者 町内外540人

長野県、木曾森林管理署南木曾支署、南木曾町森林組合、漆畑地区住民の協力により参加人数540人、ミツバツツジ・イロハモミジなど、広葉樹を中心とした里山にふさわしい山林を目指し、郡内小学生が苗木のホームステイで育てたナラの苗木も合わせて植樹した。町特産品である伝統工芸品ろくろ製品の素材となる苗木も植樹木に選定されている。

(ウ) その他

◎ みどりの募金

期間 4月1日~5月31日
募金額 260,086円 内訳 世帯募金 239,150円
街頭募金 17,208円
職場等 3,728円

◎ みどりの少年団

木曾地区みどりの少年団交流集会在、8月2日に木祖村こだまの森で開催され、南木曾小学校みどりの少年団が参加、林務担当職員もスタッフとして1名参加した。各少年団の活動発表、名札作り、木工体験として木ベラを作り交流、親交を深めた。

◎ 南木曾中学校体験学習

4月13日 椎茸植菌作業事前学習(講師:木曾地方事務所林務課職員)
25日 椎茸植菌作業 1年生対象に実施
10月20日 林業体験事前学習(講師:木曾地方事務所林務課職員)
10月26日 田立地区国有林内、学校林内において、林業体験として間伐作業と間伐材を利用した階段づくり作業を実施した。伐採した間伐材は枝払いと玉切りをし、1箇所へ集積をした。

◎ 森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋市に本社のある、大同特殊鋼(株)が創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曾町と森林の里親契約を締結していただきました。森林整備のために年100万円の寄付をいただき、今後も継続していただきます。町では天白町有林を「だいのうの森」とし、契約記念式典では、大同特殊鋼(株)の社員の皆さんと共に山林整備を実施しました。
契約記念式典 11月25日

(2) 町有林関係

(ア) 町有林造成事業

平成28年度の実施内容は以下のとおり

下 刈 (下安町有林) 2.8ha
鳥獣害防止 (下安町有林) 2.8ha 忌避剤散布
除 伐 (天白町有林) 2.5ha
除 間 伐 (城山町有林) 1.1ha 景観支障木伐採
皆 伐 (井戸沢町有林) 0.1ha 倒木などによる家屋への被害防止

平成27年度繰越(平成28年度完了分)

搬出間伐 (日陰ボケ町有林) 3.2ha
保育間伐 (日陰ボケ町有林) 1.1ha

(イ) 山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

4月での任期満了により新たに山林委員の任命を行った。

山林委員名簿

委員長：楯 勇志 副委員長：田中 淳司

読書	楯 勇志	吾妻	亀山 寿幸	田立	小幡 征海
	田中 淳司		大蝶 正理		林 重利

任期：平成28年5月1日～平成32年4月30日まで 4年間

山林委員会は、4回開催した。

山林委員の町有林巡視を補助するため、南木曾町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：240,000円)

(3) 林道開設・改良等事業

(ア) 林道開設 実施なし

(イ) 林道改良 実施なし

(ウ) 作業道開設

日陰ボケ町有林搬出間伐業務に伴い搬出路として作業道を町有林内に開設した。

開設により高性能林業機械が侵入可能となり作業効率が向上した。

日陰ボケ町有林作業道開設業務

延長614.54m、幅員3.0m、契約額 2,775,600円

(4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は拡大傾向となっており依然として被害は後を絶たない。

個体数調整事業は、特定鳥獣保護管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数をこれまでの9頭から10頭とした。捕獲実績も10頭であった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

・ 松くい虫防除対策

補助事業により南木曾町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町村境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

・ カシノナガキクイムシ対策

県補助事業により、被害拡大防止に可能な範囲で実施している。

被害の拡大は一時沈静化の状況である。

(被害地域の被害対象となる大径木の大半が被害を受け枯損しているため、新たに枯れる対象が無くなっていると考えられる。)

(6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会を3月29日に開催し、平成28年度の駆除実施計画、駆除班を編成し、実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者62名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

わな資格2名の新規資格取得費用の補助を行い有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補助事業により天白・川向地区で緩衝帯を整備し、獣の移動ルートを寸断するとともに、隠れ場所を無くすことで出没防止を実施した。更にニホンザルの行動域調査用GPS首輪発信器を2基購入し、群れの行動範囲の調査体制を整えた。

くくりワナを木曾森林管理署南木曾支署より30基借用、鳥獣被害防止実施隊で34基を購入、合計64基を従事者へ貸出し、積極的な駆除を進めた。これにより年度内に全て貸出を完了した。

(7) 忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

平成28年度末までに本登録40頭が登録されている。

新規の申し込みはなかった。

(8) 治山事業(県事業)

(ア) 奥地保安林保全緊急対策事業

H 28 現年 読書柿其

(山腹工0.17ha、アンカー工31本、簡易法砕工860m²)

(イ) 保安林改良事業

沼田地区(病虫害被害木処理36m³、植栽工(ケヤキ30本、歩道開設295m)

塚野地区(本数調整伐5.83ha、獣害防除5.83ha、伐木筋工170箇所)

(ウ) 復旧治山

H 2 7 繰越 読書胡桃田沢(谷止工2 基)

H 2 8 現年 和合蛇抜沢(谷止工1 基)

(9) 災害復旧事業

(ア) 補助災害分 なし

(イ) 町単災害分 林道長根線 土留法面崩落災害修繕工
(植生マット工 103.7m²)

(ウ) 県単災害分 なし

平成28年度林務関係主要事業

単位：千円

事業名	事業主体	事業量 (ha)	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988				988	
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	16.87	505				505	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		350				150	その他：寄付金
合計			1,843	0	0	0	1,643	

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
町有林 造成事業	町	下刈	1,296				1,096	下安町有林(塚野) その他：寄付金
		鳥獣害防止 2.8ha				200		
		除伐 2.5ha	1,080			1,000	80	天白町有林(読書天白) その他：寄付金
		除間伐 1.1ha	972				972	城山町有林(吾妻妻籠)
		皆伐 0.1ha	1,800				1,800	井戸沢町有林(田立元組)
27年度 繰越事業	町	搬出間伐 3.2ha	5,184	2,042			2,638	日陰ボケ町有林(読書上の原) その他： 上下流交流基金 266千円 立木売却収入 2,372千円
		保育間伐 1.1ha					504	
合計			10,332	2,042		3,838	4,452	

(3) 林道開設・改良・維持事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
林道秋葉山線測量調査	秋葉山線	測量調査	1,296				1,296	測量調査(先線舗装改良による)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
林道維持修繕			1,539	0	0	0	1,539	6路線、11ヶ所 田の沢線：落石除去、橋鉢線：暗渠復旧 川向柳野線：倒木、細野山線：倒木処理 長根線：除草作業、秋葉山線：転石除去

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
日陰ボケ町有林作業道開設	日陰ボケ町有林	作業道 開設 614.54m	2,775		1,206	0	172	平成27年度繰越 (平成28年度完了) 上下流交流基金 172千円

(4) カモシカ対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源			
カモシカ個体数調整事業	町内一円	10頭	570	0	0	0	0	570				
イ 捕獲実績												
年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
頭数	27	22	23	13	20	8	8	8	8	8	9	10

単位：頭数

(5) 森林病虫害等防除対策事業

1) 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m ³)	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
森林づくり推進支援金事業	町内一円	30.12	1,306		1,037		269	県民税事業
松林健全化推進事業		147.97	5,359		2,709		2,650	
(内 松くい虫被害)	三留野以北	(139.22)	(4,691)		(2,451)		(2,240)	
(内 ナラ枯被害)		(8.75)	(668)		(258)		(410)	
危険枯損木処理(松枯)	町内一円	113	2,674				2,674	地権者要望箇所対応
計		291.42	9,339	0	3,746	0	5,593	

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量 単位：m³

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
処理量	66.19	91.74	135.00	135.00	155.00	5.25	10.59	8.93	5.00	2.00	104.11	65.62
年度	22	23	24	25	26	27	28					合計
処理量	57.21	84.94	134.16	225.40	491.67	201.65	291.42					2,270.88

(6) 有害鳥獣駆除事業

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	4,271				4,271	駆除報償金、くくりワナ購入等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	4,200		1,920		2,280	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	153		52		101	個体数調整事業・有害鳥獣捕獲者支援
鳥獣被害防止総合対策交付金	天白・川向、 長者畑	一式	2,276		1,596		680	GPS首輪発信器購入 緩衝帯整備・電気柵購入
忠犬による追い払い事業	町内一円	一式	74				74	飼主障害保険
計			10,974	0	3,568	0	7,406	

イ 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	ニホンジカ	アライグマ	アナグマ
報酬単価	30,000	10,000	15,000	-	500	-	3,000	3,000	1,000	30,000	3,000	-
有害期間許可頭数等	99	220	11	20	30	5	50	50	10	50	5	10
有害対象期間捕獲頭数	35	170	8	9	0	0	25	32	3	22	0	5
狩猟期間捕獲頭数	28	44	0	0	0	0	3	7	0	20	1	1
駆除合計	63	214	8	9	0	0	28	39	3	42	1	6
(前年度駆除頭数)	92	131	0	0	7	0	18	25	0	38	0	4

ウ 熊の出没回数

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年	1	1	6	4	9	15	4	1	0	0	0	0	41
平成27年	1	2	5	4	5	6	0	1	0	0	0	0	24

エ 忠犬登録実績

単位：頭数

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
読 書	5	7	9	18	22	23	26	26	26
与川一区		1	1	2	2	2	2	2	2
与川三区				2	2	2	2	2	2
与川五区				1	2	2	2	2	2
十二兼				1	1	1	1	1	1
本谷	2	2	2	2	1	1	1	1	1
岩倉	1	1		1	1	1	1	1	1
戸場	2	2	2	2	3	3	3	3	3
川向				2	3	4	5	5	5
沼田							1	1	1
上の原		1	3	4	4	4	5	5	5
新町					1	1	1	1	1
東町			1	1	2	2	2	2	2
吾 妻	4	4	4	5	7	7	7	7	6
中町				1	1	1	1	1	1
橋場					1	1	1	1	1
大妻籠	2	2	3	3	3	3	4	4	3
下り谷	1	1	1	1	1	1			
尾越	1	1							
口広瀬					1	1	1	1	1
田 立	6	6	6	7	9	9	9	9	8
元組	1	1	1	1	1	1	1	1	1
向栗畑	1	1	1	2	3	3	3	3	3
栗畑	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下切	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大野正兼	1	1	1	1	2	2	2	2	1
塚野	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計	15	17	19	30	38	39	42	42	40

(7) 治山事業費
ア 県事業分 (H28年度完了分) 単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
奥地保安林保全緊急対策事業 (H28現年)	柿其	山腹工 アカー工 実播工 (簡易法砕工) 0.17ha 31本 860m ²	請負金額 90,320.4千円
保安林改良事業 (H28現年)	読書	病害虫木処理 植栽工(ケヤキ) 歩道開設 36m ³ 30本 295m	請負金額 4,503.6千円
	塚野	本数調整伐 獣害防除 伐木筋工 5.83ha 5.83ha 170箇所	請負金額 3,078.0千円
復旧治山事業 (H27~ ² 年度)	胡桃田沢	谷止工 2基	請負金額 67,543.2千円
復旧治山事業 (H28現年)	蛇抜沢	谷止工 (2 ^か 年施工の内、2年度) 1基	請負金額 89,974.8千円

(8) 災害復旧事業費
ア 県単独事業分 (H28年度完了分) 単位：千円

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
なし			
イ 町単独事業分 (H28年度完了分) 単位：千円			
事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
林道災害復旧	林道長根線	植生マット設置工 (土留崩落災害復旧) 103.7m ²	請負金額 799.2千円